

「第三者評価に参加して～事業者からのコメント～」

藤松 保育園

第三者評価に参加することにより、全職員がこれまでの保育を見直す良い機会となり、保育内容の話し合いや自己評価を行うことの大切さを再確認することができました。

評価結果ではマニュアルの整備や保護者との連携、及び地域交流や関係機関との連携など、多くの点において良い評価をいただくことができました。今後も保護者との信頼関係を図り、支援を充実させることを目指します。

さらに職員はこれからも常に向上心を持ち、温かい家庭的な雰囲気の中で、子どもたちの育ちを大切に見守りたいと考えております。

今回の調査で出された新たな課題におきましては早急に検討し、改善に向け努力していきたいと思っております。

1. ケース会議

定期的なケース会議を開き、職員間の意見を出し合うことで検討内容の充実を図り討議内容を記録し、後にわかりやすいようにまとめます。

2. 保育施設

狭い保育室でのコーナー遊びの工夫はしているが、今後はさらに子どもたちが伸び伸びと遊べるよう創意工夫を怠らず、子どもたちとの関わりが深められる雰囲気作りに努める。

保育技術を高め、ゆとりある保育を心がけていきたいと思っております。

3. 研修

職員研修は職員の意見を考慮し、年間の計画を平成19年度より作成致します。

4. 乳児保育

乳児保育スペースの確保については、建築構造上の問題もあり大変困難な状況ではありますが、ゆとりある空間と静かな時間が確保できるようにカーテンなどで仕切りを設けるなどの改善策を検討しています。

SIDSにおける予防策の改善については直ちに記録簿を作成し、翌日より記録をとる事で処置いたしました。